



今年度もあとわずか!最後まで子どもたちの育ちを支えていきます。

早いもので2月が終わり、本年度も3月を残すのみとなりました。残りの登校日は6年生12日、5年生16日、1~4年生15日です。本年度も残りわずかとなりましたが、卒業式や修了式まで、さらに前進できるように努めていきます。

さて、この1年を振り返ると、コロナ禍ではありましたが、少しずつできることが増え、様々な人と関わったり体験をしたりする教育活動ができるようになりました。本年度、「**自他のよさを大切にし、ともに高め合う喜びを味わう神興っ子の育成**」という重点目標を掲げて、各種教育活動を展開してきました。教職員・PTA・地域コーディネーター・郷づくり・運営協議会の皆様など、子どもたちと関わる大人が熟議し、工夫を凝らしながら教育活動を行う中で、子どもたちは、地域の「ひと・もの・こと」と出会い、縦割り活動や幼稚園・保育園児・中学生・大学生など幅広い年代の人たちと交流し、多くの経験・学習を積み重ねることができました。このことにより、子どもたちは、社会や地域、学校で活躍する大人や中学生・大学生、上級生の背中を見て学び、感謝の心をもち、成長することができました。ご家庭でも、お子様の1年前・半年前の姿と現在の姿を比べ、頑張ったことやできるようになったことを認め、褒めてください。このことで、子どもたちが次の目標や成長する意欲をもつことにつながられると考えます。また、お世話になった方への感謝の気持ちをもつことができるような声かけをすることで、地域を好きになり、地域や人の役に立ちたいと思えるようになると考えます。

本年度の残りの期間、そして、次年度も子どもたちが前向きに生活し、努力を重ね、成長していくことができるよう、学校・家庭・地域で子どもたちを見守り、支え、励ましていきたいと思います。

皆がじんわりほっころの心温まるひと時。お別れ集会。

2月22日にお別れ集会を実施しました。体育館に全校児童が集合して行う形では、2年ぶりとなる集会でした。全員で6年生を迎え、全ての学年の出し物を参観しました。終始、6年生への感謝を伝えたい、6年生に楽しんでもらいたいという気持ちがいっぱい、一体感や温かさを味わうことができました。

どの学年の発表も、ひと工夫凝らしてある、その学年らしさがある最高の発表でした。私自身も、4、5、6年生の合奏指導にも関わって子どもたちの頑張りや成長に直に触れることができ、感慨深い行事となりました。

今後も全ての教育活動において、子どもたちが輝く姿が見られるよう、子どもたちと教職員が一体となって、行事等の取組を進めていきます。



